

図書館だより



2020年
8月号

2020年8月7日発行

今日で1学期が終了しました。緊急事態宣言によって誰にとっても初めての経験となるが多かった学校生活でしたが、みなさんが元気に毎日を過ごしている姿に励まされました。夏休みは1学期を頑張った自分を労いながら、少しゆっくりと体を休めましょう。3年生は進路に向けて大切な時期ですが、図書館には進路に関する本(職業本、小論文や志望理由書の書き方などの入試対策本)も揃っています。夏休みの受験勉強に役立ててください。



まだ外出は控えた方がいいような状況が続いていますから、家にいる時間を楽しく過ごせるように図書館からもおすすめ本をたくさん紹介したいと思います。図書館だよりに載せた本や館内に展示してある本以外にも「こういう本が読みたい！」と直接声をかけてもらえれば、気持ちに添った本をその場で探すお手伝いもします。気軽にリクエストを出してくださいね。

文章を書く力を鍛える

816-マ 『マジ文章書けないんだけど』 前田 安正 || 著 大和書房

文章を書くことに苦手意識を持つ人の「どう書けば伝わる文章になるのか」という悩みに対し、具体的な例を用いて、文章を分解しながら問題点を挙げ、わかりやすい文章の組み立て方を教えてください。パッと見、問題なく書けてように思える文章も分解してみると、矛盾があったり、整理しきれいでなかったりしていることに気がつきます。例えば、「このモデルは背が高く脚が長くスタイルがいいので顔が小さく、どんな服でも似合うモデルだ」という文章。これのどこに問題があり、どうすれば収まりのよい文章になるのか、この本を読めば、スマートに直せるようになるはず。

「働く」を考える

366-イ 『なぜ僕らは働くのか』 池上 彰 || 監修 学研プラス

この本のサブタイトルは「君が幸せになるために考えてほしい大切なこと」です。仕事は人生に大きな影響を与えるものですから、働き方を考えることは自分の幸せを考えることにも繋がっていきます。世の中の仕組みや働き方の様々な形について、やりたい仕事の見つけ方などが図説付きのストーリー仕立てで説明されています。主人公の中学生ハヤトの気持ちはみなさんに通じるものがあり、こんな風に悩んだ時にはどうしたらよいかというヒントがたくさん見つかると思います。今だけでなく、働き始めて壁にぶつかった時に読んで心も軽くしてくれる本です。

映画を待つ間に原作を読んでみよう

コロナ禍によって映画館も閉館となり、公開が予定されていた作品が次々と延期になってしまいました。公開日を楽しみに待っていて残念な思いをした人も少なくないはずですが、映画作品の中には原作があるものもあります。延期になった映画を待つ間に原作本を読んでみませんか。原作を読むのと映画を観るのでは同じ作品でも感じ方が変わってきます。どちらのよさもありますから、文字で読むおもしろさ、映像で観るおもしろさ、その両方を楽しんでみましょう。

913.6-ツ 『朝が来る』 辻村 深月 || 著 文藝春秋

この物語にはふたりの母親が登場します。事情があって生まれた子どもを育てられない母親と、望んでいても子どもを授かることができない夫婦との間で、子どもが赤ちゃんのうちに養子縁組を結ぶ「特別養子縁組」の制度を受けたひかりと佐都子。それぞれが抱える母としての葛藤と人生が描かれており、様々な親子の形、愛の形に気づかされます。

B913.6-ハ 『キネマの神様』 原田 マハ || 著 文藝春秋

ギャンブル好きで借金を作っては家族を悩ませる困り者の父と、長年勤めた会社に辞表を提出した娘の歩。主人公である彼ら親子には共通したひとつの趣味があった。それが映画だ。

映画を愛する親子、そして、その仲間たちが映画を通じて出会い、温かな絆で繋がっていく様子はもちろんのこと、魅力いっぱい語られている名画の数々にも注目して読んでほしいです。

公開が始まったこちらの映画の原作もおすすめ！

- 😊 913.6-シ 『ステップ』 重松 清 || 著 中央公論新社 …涙なしには読めない父と娘の成長期。
- 😊 913.6-マ 『劇場』 又吉 直樹 || 著 新潮社 …不器用な主人公の人生模様が心に刺さります。

図書館司書の「今月はこの本を読みました」

以前、伊吹有喜さんの『彼方の友へ』(913.6-イ 実業之日本社)が面白いと、ある先生との話が弾みました。少女小説の世界が好きなお人には昭和初期の吉屋信子や中原淳一が活躍していた時代にいるような気分を味わえて、この作品自体も少女小説のような素敵な物語だったからです。その先生から新作『雲を紡ぐ』(913.6-イ 文藝春秋)の影響を受けたものですが、お誕生日プレゼントを頂きました。コーヒーとリンゴのお菓子です。早速コーヒーを淹れて読んでみました。不登校になった少女美緒が両親との関係もこじれ、祖父の暮らす盛岡へ家出するのですが、そこでの暮らしがとても素敵でした。岩手山が磨いた水はきれいでおいしくて、「ばら色のリンゴジュース」を飲める喫茶店があって、英国の絵本にでてくるような生け垣があります。その生け垣は没交渉だった母と祖父が打ち解けるきっかけになります。そのくんだりも、本好きにはたまらない部分でした。「せがなくていい」豊かな時間をすごせました。感謝です。【鈴木】

涼 図書館で出会う！～【涼(りょう)】に出会う編～ 涼

例年より長く続いている今年の梅雨。ようやく関東も梅雨明けの発表が出されました。梅雨の間はわりと涼しい日が多かったように感じますが、梅雨が明ければ夏本番となり、暑さも厳しくなると思われます。特に今年は皆がマスクをしながらの夏となりますから、熱中症にはいつも以上に気をつけて過ごしましょう。そんな8月は気持ちだけでも涼くなれるよう【涼(りょう)】と出会う本をみなさんに紹介したいと思います。爽やかに涼くなれる本を中心に集めました。中には背筋がゾツとして寒くなるような本も入れています。色々な「涼」をお楽しみください。

◆展示本リスト◆

- 290-エ 『死ぬまでに見たい！雪と氷の絶景』 エクスナレッジ
→夏に眺める雪と氷が作る美しい世界の絶景は束の間、暑さを忘れさせてくれます。
- B297.9-二-1 『面白南極料理人』 西村 淳 || 著 新潮社
→平均気温マイナス57°Cの南極で越冬隊の一員として、料理人としての生活を綴った日記。
- 451-マ 『ひんやり氷の本』 前田 紀一 || 監修 池田書店
→科学と食文化から氷を知る本。氷が持つ“熱”とは!?ふんわりかき氷の秘密とは!?
- 452-ナ 『海の辞典』 中村 卓哉 || 写真・文 雷鳥社
→海にまつわる言葉と出会う辞典でありつつ、美しい海の写真集としても楽しめる1冊。
- 596-フ 『一年中おいしいアイスデザート』 福田 里香 || 著 主婦と生活社
→アイスクリームよりも低カロリーな氷のデザートレシピで、猛暑を乗り切りましょう。
- 708-二-2-4 『NHK美の壺 風鈴』 NHK「美の壺」制作班 || 編 NHK 出版
→日本の夏の風物詩「風鈴」涼やかな音色や見た目に込められた職人の技や歴史を知る。
- B913.6- 『よもつひらさか』 今邑 彩 || 著 集英社
→暑くて何もしたくないような日に背筋を凍らせてくれるホラー短編集はいかが。
- B913.6-ト 『キャッチ・ザ・ウェーブ』 豊田 和真 || 著 角川学芸出版
→サーフィンの魅力を知った男子高校生三人のひと夏を描いた物語。湘南の海が眩しい。

この中でも、いちおしなのは…

B913.6-ト 『キャッチ・ザ・ウェーブ』 豊田 和真 || 著 角川学芸出版

僕、小林、田口の赤点コンビは「進級したいならもっと勉強しろ！」と学年主任から散々叱られたにも関わらず、夏休みの始まりとともに一ヶ月湘南で暮らす大冒険に出発する。そこで彼らはサーフィンと出会い、波に乗れた時の疾走感、自然の波を相手にする楽しさと怖さを体験し、その魅力にどっぷりハマっていく。さらに、僕は同じ湘南の海で波を乗りこなすジュリアという少女に恋をする。サーフィンと恋、眩しい夏の青春を楽しみながら、海に出かけた気分も味わえる1冊です。

LIBRARY 新着本コーナーの気になる1冊 LIBRARY

376-ト 『東大生の勉強法カタログ』 学研プラス

専攻も性格も異なる8人の東大生の勉強法を紹介した本です。その数はなんと100種類。勉強法は人によってそれぞれですし、東大生の勉強法と聞くとハードルが高いように感じるかもしれませんが、「絶対覚えたいものはスマホの壁紙にする」「電子辞書の履歴で単語の総チェック」など今日から気軽に取り組める方法が大半で、どこから実践してみようか考えているうちに勉強への意欲もわいてきます。



748-エ 『暮らしてみたい世界のかわいい街』 インプレス



世界のかわいらしい街並みを「ファンタジー世界の街」「憧れリゾートの街」「花の美しい街」「世界遺産の街」「作家ゆかりの街」の5つにカテゴリ分けして紹介しています。異国情緒あふれる街並みの数々を眺めながら、そこを歩く自分を想像してみると、旅の気分が味わえます。日本では見かけない建物の造りや色使い、街の雰囲気は新鮮で見飽きませんし、夢の世界のように綺麗で心がときめきます。

913.6-イ 『逆ソクラテス』 伊坂 幸太郎 || 著 集英社

作家デビュー20年目を迎えた伊坂幸太郎さんが小学生を主人公にして書いた短編集です。彼らが様々な騒動に直面し、抱える悩みやモヤモヤは小学生の頃に自分も経験した気持ちと似ていて、こんな子いたな、こんな思いしたなと懐かしさと歯がゆさを感じます。「負けないで！」と言葉を送りたくなるシーンもありますが、伊坂さんらしいユーモラスさや心に残る名言もあり、楽しく読み切れる1冊です。



B913.6-ア 『幽霊たちの不在証明』 朝永 理人 || 著 宝島社



羊毛高校で文化祭が行われている中、お化け屋敷をやっていた二年二組の教室で殺人事件が起きた。死亡した女子生徒は幽霊役をこなしていたクラス委員の旭川明日葉だった。彼女は幽霊の役から本物の死体になったのか。僕はクラスメイトの甲森璃瑠子に協力を頼まれ、事件の犯人を調査し始める。文化祭当日の様子を鮮明にたどって見えてきた二年二組の生徒たちの動き。彼らの中に犯人はいるのか。